



H.Suga

THE AMERICAN JOCKEY CLUB CUP

第65回 アメリカジョッキークラブカップ (GII)

1着 本賞 62,000,000円
2着 付加賞 25,000,000円
3着 854,000円
4着 244,000円
5着 122,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 4歳56kg・5歳以上57kg・牝馬2kg減、2023.1.21以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増

増・牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2023.1.20以前のGⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

2024.1.21 中山 喜・不良 芝2200m (国際) (特指)

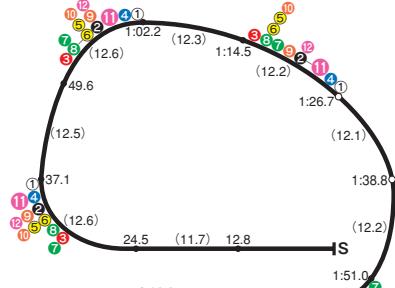
順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	調教師	レーティング	
						(着差)	通過順位	(600m)	(増減)	オッズ			
1	⑪	チャックネイト	駆	6	57	R.キング	2:16.6	2-3-3-3	37.6	486(+8)	6.53	堀 宣行(美浦)	113
2	⑫	ボッケリーニ	牡	8	57	浜中 俊	ハナ	4-4-4-4	37.3	470(-4)	4.42	池江泰寿(栗東)	112
3	⑬	クロミナンス	牡	7	57	C.ルメール	1 1/4	4-4-4-4	37.5	496(-8)	7.65	尾関知人(美浦)	110
4	⑭	モリアーナ	牝	4	54	横山典弘	アタマ	11-12-12-8	36.9	482(+4)	7.54	武藤善則(美浦)	106
5	⑮	マイネルウィルトス	牡	8	57	横山武史	クビ	1-1-1-1	38.1	488(+2)	4.21	宮 徹(栗東)	
6	⑯	シルプロン	牡	6	57	R.ヒュエック	クビ	10-10-8-6	37.3	504(+0)	97.10	稻垣幸雄(美浦)	
7	⑰	サンストックトン	牡	5	57	戸塚アコト	クビ	7-7-8-6	37.4	478(±0)	74.60	鹿戸雄一(美浦)	
8	⑱	ラーグルフ	牡	5	57	三浦皇成	アタマ	7-7-8-10	37.3	500(+2)	13.58	宗像義忠(美浦)	
9	⑲	ショウナンバセット	牡	4	56	横山和生	½	2-2-2-2	38.2	492(-2)	9.07	須貝尚介(栗東)	
10	⑳	カラテ	牡	8	57	菅原明良	7	4-4-6-8	38.8	540(+2)	7.66	辻野泰之(栗東)	
11	㉑	ハウオウリアリティ	牡	6	57	大野拓弥	½	7-7-8-10	38.6	486(+4)	81.00	高木 登(美浦)	
12	㉒	アドマイヤハリー	牡	6	57	田辺裕信	2 1/2	11-10-7-12	39.2	474(±0)	38.19	宮田敬介(美浦)	

単勝⑪650円(3kg) 複勝⑪190円(3kg) ⑫150円(1kg) ⑬260円(6kg) 枠連⑪-⑫1,180円(5kg)

馬連⑩-⑪1,160円(2kg) ワイド⑪-⑫440円(2kg) ⑫-⑬920円(13kg) ⑬-⑭770円(9kg)

馬単⑩-⑫2,220円(4kg) 3連複⑪-⑫-⑬3,320円(7kg) 3連単⑪-⑫-⑬16,330円(31kg)

5重勝⑩⑪⑫⑬⑭13,101,590円(150票) 対象競走: 京都10R／中山10R／小倉11R／京都11R／中山11R



通過タイム : 600m 800m 1000m
37.1 - 49.6 - 1:02.2

上り : 800m 600m

1:49.9 - 37.8

アラカルト

- R.キング騎手はJRA重賞初勝利
- 堀宣行調教師はアメリカジョッキークラブC初勝利。JRA重賞は通算70勝目
- ハーツクライ産駒はJRA重賞通算84勝目
- 6歳馬の勝利は22年キングオブヨージに続く通算16回目
- 驕馬の勝利は03年マグナーテン以来21年ぶり、通算2回目

チャックネイト Chuck Nata

驕 鹿毛 2018.5.8生

北海道千歳市 社台ファーム生産

馬主・金子真人ホールディングス(株) 美浦・堀宣行厩舎

馬名意味・人名より+人名より

ゴジップガールUSA系 F3		
ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	アイリッシュダンス 鹿毛 1990	Toribin IRE ビューバーダンスUSA
ゴジップガールUSA Gozzip Girl 黒鹿毛 2006	Dynaformer 黒鹿毛 1985	Roberto Andover Way
	Temperence Gift 黒鹿毛 1998	Kingmambo Shapiro's Mistress

5代までのインブリード : Hail to Reason S 4 XM 4

INTERVIEW

石井猛 牡馬調教主任(社台ファーム)

重賞戦線の主役を張り続けてほしいです

一昨年は喘鳴症の手術、昨年は去勢処置で小休止を繰り返してきましたが、獣医陣を含めた千歳と山元のスタッフの思い、そして堀厩舎のご尽力も加わって、ゴール前のファイトバックに繋がったように思います。ここまで待ってくださった金子オーナーに少しでもお返しできたことが何よりも嬉しいです。今年は本格化した姿で重賞戦線の主役を張り続けてほしいです。



H.Ozawa

4歳時にノド鳴りの手術を受け、5歳時に去勢。数々の手立てを尽くされつつ、激しい気性と表裏一体の能力を開花させてきた本馬は昨年秋に3勝クラスを卒業し、続くアルゼンチン共和国杯で小差の3着に食い込んだ。2ヶ月余りの休養を挟んで臨んだこの日は、ハナ差の接戦に競り勝つて重賞ウイナーの仲間入り。息の長い末脚と旺盛な勝負根性を存分に引き出し、外国人女性騎手初のJRA平地重賞制覇を果たしたキング騎手の“剛腕”も光った。

父ハーツクライ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央、首、英19戦5勝(ドバイシーマクラシック・首G1、有馬記念G1、京都新聞杯GII)、最優秀4歳以上牡馬、07年から供用、21年引退、23年死亡。19年日本リーディング2位

〔代表産駒〕**リスクラシュー**(コックスプレート・豪G1、有馬記念G1、宝塚記念G1)、**ジャスタウェイ**(ドバイデューティフリー・首G1、天皇賞(秋)G1、安田記念G1)、**ドウデュース**(日本ダービーG1、有馬記念G1、朝日杯フューチュリティS G1)、**ヨシダJPN** Yoshida(ウッドワードS・米G1、ターフクラシックS・米G1)、**ワンアンドオンリー**(日本ダービーG1)、**ヌーヴォレコルト**(オークスG1)、**スワーヴリチャード**(ジャパンC G1)、**シュヴァルグラン**(ジャパンC G1)、**コンティニュアスJPN** Continuous(英セントレジャーG1)、**サリオス**(朝日杯フューチュリティS G1)、**アドマイヤラクティ**(コーフィールドC・豪G1)、他に重賞勝ち馬多数

母ゴジップガールUSA

北米14戦5勝(アメリカンオータクスG1、サンズポイントS G2、ヒアカムズザブライドS G3、ココナツツグローヴS・L、アシュランドS G1 2着)、11年輸入

ジェネラルゴジップ(12 牡父ディープインパクト)中央35戦3勝

サトノディード(15 雄父ディープインパクト)中央15戦4勝(招福S)、地方

18戦3勝

ピッグゴシップ(17 牡父ダイワメジャー)中央6戦0勝、地方58戦5勝

〔チャックネイト〕 本馬(18 雄父ハーツクライ)中央15戦5勝(アメリカジョッキークラブC G1、六社S、長良川特別、アルゼンチン共和国杯GII 3着)

獲得総賞金145,027,000円

リアルビギニング(21 牡父リアルスティール)中央1戦0勝 勝

※13、14、16、19、20、22(不受胎)、23(流産)

祖母テンパンサンギフト Temperence Gift

アメリカ産 不出走

ガリレオフィガロ Gallileo Figaro(03 牡父Galileo)英3勝、英障害3勝

ジャニッラ Gianella(ディエゴホワイト賞・亞G3、セレクションデポトランカス・亞G1 2着)、**ガリレオズタウン** Gallileo's Town(ビセンティデュプリ賞・亞G3)、サリレモンドUSA(沈丁花賞)の母

ゴジップガールUSA(06 前出)

レディータピット Lady Tapit(12 牡父Tapit)北米1勝(アドレイションS G3 3着)

コッカトゥーアイランド Cockatoo Island(13 雄父War Front)愛、マレーシア8勝

前日の夜から降り続いた雨は午後にあがつたものの、今年のアメリカJC Cはあいにくの不良馬場を舞台に争われた。12頭の出走馬中、ひと桁の単勝オッズを記録した馬が7頭と、ハンデ戦のような混戦模様を呈した別定GIIで、頭ひとつ抜けた支持を集めたのは8歳の古豪。道悪(不良)の福島民報杯を大差で圧勝した実績を持つマイネルヴィルトスと、勝ち味に遅い半面、戦制したのは3番人気に支持された6歳歴は最高位の重賞3勝馬ボッケリーニが人気を分けたが、タフな追い比べをマイネルヴィルトスが注文をつけたマイネルヴィルトスだった。

1番枠を引いて内で包まれるのを嫌ったチャックネイトだった。

4歳時にノド鳴りの手術を受け、5歳時に去勢。数々の手立てを尽くされつつ、激しい気性と表裏一体の能力を開花させてきた本馬は昨年秋に3勝クラスを卒業し、続くアルゼンチン共和国杯で小差の3着に食い込んだ。2ヶ月余りの休養を挟んで臨んだこの日は、ハナ差の接戦に競り勝つて重賞ウイナーの仲間入り。息の長い末脚と旺盛な勝負根性を存分に引き出し、外国人女性騎手初のJRA平地重賞制覇を果たしたキング騎手の“剛腕”も光った。

接戦を制し重賞ウイナーの仲間入り